

2023年9月15日 第3444回例会

於： 横須賀商工会議所「多目的ホール」



<点鐘・開会> 12:30 藤村 会長

<斉 唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> *横須賀ジュニアビレッジ コーチ 池井 将 様

*米山奨学生 李世林 様

<ビジター紹介> *相模原南ロータリークラブ

バストガバナー:大谷信一郎様 会長:奥橋 園子 様 副会長:栗林 一郎 様

幹事:江田 昌弘 様 SAA:雲田 直輝 様 会長エレクト:中村 好孝 様

小川 仁司 様 柏原 政人 様 黒河内 彰子 様 黒河内 三郎 様

小林 大二郎 様 須坂 知恵 様 鈴木 晴澄 様 鈴木 昌彦 様

中村 辰雄 様 中村 文子 様 藤原 新一 様 松井 克之 様

森泉 朋子 様 山田 修 様

<バナー交換> *相模原RC 奥橋会長、横須賀RC 藤村会長

<ビジター挨拶> *相模原RC 奥橋会長、大谷PG

<会長報告> *ロータリー賞受賞の報告(前田直前会長から詳細報告とお礼)

*ガバナー事務所から

・ロータリーレート変更のお知らせ 9月1日から1ドル146円(現行141円)

・地区ローターアクト委員会のご案内について

9月16日(土)10:30~12:00委員会(任意) 場所:第一相澤ビル

12:30~16:30横浜南RAC/浦和北RACとの合同例会

・2023-24年度 社会・国際奉仕委員長研修会のご案内について

11月11日(土)14:00~16:30

場所:アイクロス湘南(カンファレンスルーム6F E号室)

・インターアクト委員会・IAアクターズミーティング開催のご案内について

10月7日(土)13:00~インターアクト委員会

14:00~アクターズミーティング

場所:アイクロス湘南6F

・ポリオデー向けポロシャツ販売のご案内

・地区Polio Day(夢の音楽祭:ピアニスト 花房晴美 様)について

10月25日(水)18:00~21:00

場所:大和市文化創造拠点シリウス(大和市大和1-8-1)

<委員長報告> *米山奨学委員会 土田委員長から 米山学友会主催「クリーンキャンペーン」報告

<幹事報告> *盲導犬の育成支援を継続しよう!!盲導犬イベントのご案内について(高橋副会長代理報告) 10月21日(土)11:00~14:00 場所:根岸第三公園

<出席報告> *出席委員会 加賀本副委員長から9月15日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
119名	107名	71名(名)	36名	4名	70.09%

メイクアップ:小沢会員 浦和RC出席、小佐野会員 地区委員会出席

小山(陽)会員 地区委員会出席、鈴木(之)会員 第1G三役会出席

<ニコニコ報告>

・相模原南RC一同 藤村会長、鈴木幹事、会員の皆様本日はよろしくお願いたします。コロナで1人欠席となりましたが、総勢20人で参加させていただきます。大谷PGや当クラブチャーターメンバーである百歳でいらっしゃる黒河内会員もご一緒です。本日、相模原の鳥ヒバリの形をした津久井きなこ味のクッキーを持参しました。ご賞味ください。

- ・藤村会長、高橋副会長 横須賀ジュニアビレッジコーチ 池井 将様、ようこそお越しくださいました。
本日の卓話どうぞよろしくお願ひいたします。
- ・大石、比護、萩原、梁井、植田、児玉、小保内、
荻山、加藤、福西、勝間、新倉、臼井、杉浦、田中、
権田、濱田、田村、澤田、松本、二瓶、鈴木 各会員
横須賀ジュニアビレッジコーチ 池井 将 様、横須賀紫にんじンドレッシングなど
数々の取り組みについてお話を聞けることを楽しみにしております。どうぞよろしくお
願ひいたします。
- ・藤村会長、高橋副会長 相模原南ロータリークラブの皆様、本日は多くの会員の方々にお越しいただき
ましてありがとうございます。どうぞ例会をお楽しみください。
- ・大野、植田、瀬戸、福西、椿、勝間、新倉、佐久間、鹿島、江口、八巻、
小平、徳永、前田、松岡、江沢、谷、鈴木、上林、岡田、南、齋藤、
土田、浅葉、小林、飯塚、長尾、三堀、田邊、杵渕、中村 各会員
米山奨学生 李世林様、国際ロータリー第2780地区パストガバナー大谷新一郎様、
会長 奥橋園子様をはじめとする相模原南ロータリークラブの皆様ようこそ横須賀
ロータリークラブへいらっしゃいました。本日は例会場を広くして皆様をお待ちしてお
りました。例会をお楽しみください。
- ・平松 会員 誕生月祝いとして
- ・鈴木、土田 両会員 入会月祝いとして
- ・木村、石田、植田、高橋、寺田、新倉、
濱田、八木、伊藤、加賀本、笠木 各会員
男子バスケットボール AKATSUKI JAPAN 日本代表、1976年モントリオールオリンピ
ック以来48年ぶりのオリンピック出場を決めました！大逆転に次ぐ大逆転、感動しま
した！次はラグビーワールドカップを皆様で応援しましょう！
- ・竹株 会員 昨日は18年ぶりの“アレ”で大阪がかなり盛り上がりました。おめでとうございます!!

<新会員卓話>

「横須賀ジュニアビレッジの取り組み」

横須賀ジュニアビレッジ

コーチ 池井 将 様



私は横須賀市根岸町在住で、30歳です。小学校低学年まで横浜に、その後大阪で暮らしていました。関西学院大学出身です。関学は関西学院大学の登録商標ですが、こちらでは関学というと関東学院大学になってしまいます。関西学院大学のスクール・モットー（校訓）は「Mastery for Service」で「奉仕のための練達」と訳され、「隣人・社会・世界に仕えるため、自らを鍛える」という関学人のあり方を示しています。社会人になり、子どもや地域のために自分の中に軸を定めて活動していく中で、とても良い言葉だと思い始めました。奉仕活動に関して親和性があると思い、ここに披露しました。

大学卒業後は縁もない横須賀に来て、(株)タウンニュース社に就職しました。横須賀支社に配属され、記者として3年ほど、いろいろな方の取材をしてまいりました。

その後は、重い心臓疾患の少女の命を救うため、渡米や手術費用の募金活動をする「しずくちゃんを救う会」を立ち上げ、ロータリークラブの皆様にも多大な協力を頂戴しました。本当にありがとうございました。

3億円を上回る募金も集まり、手術も成功し、雫ちゃんは中学2年生になり市内の中学校に通っています。皆様のおかげで少女の命がつながり本当に良かったと思っています。

その後、学童クラブに勤務しましたが、今は自分で放課後の居場所づくりや不登校の子どもの居場所づくりとして、学童クラブ「ぬくもり」の運営や「プレーパーク」という遊び場づくりなど子どもや地域をテーマにさまざまな活動を行っています。

私の本業は学童保育で、放課後の居場所づくりをメインにしています。学童保育は小学生が学校から帰った後に過ごす場所です。一般的には低学年の子どもたちに対して待機児童をなくすために40人、50人が押し込まれる環境が多いのですが、そうではなく、4年生や5年生などの高学年あるいは中学生でもゆったり過ごせる環境をつくっています。

その中で、高学年の子どもたちは、崖を登ったりする挑戦や市議会議場を見せて横須賀市など地域に愛着を持ってもらう取り組みをしています。

昨年、長井に田んぼを借り1年かけて子どもたちと米を作り、来日したセネガルの子どもたちに贈る取り組みをしました。6年ほど前にドイツの「国際平和村」を訪問する機会を得ました。この施設は中東やアフリカの内戦などで負傷した子どもたちをドイツの人たちが連れてきて治療し、母国へ返すという活動をしています。先進国だからこそできる平和への取り組みを目の当たりにしたので、日本の子どもたちに食事も満足にできない子どもたちがいることを伝えたくて、米作りをしながら平和や食の尊さを知ってもらう取り組みも行っています。

「横須賀ジュニアビレッジ」の活動についての話をさせていただきます。

まず、子どもたちで会社をつくることからスタートし、そこから農業やビジネス、地域を横断的テーマとし、学校や部活ではなく、実際に社会の中で活動し、試行錯誤を繰り返しながら探求学習して地域貢献へつなげることを活動のテーマにしています。

具体的には、横須賀市内の小中学生が毎年15人から20人程度参加し、毎週日曜日に活動しています。横須賀の西部で作られているカラフル野菜を地域の魅力として多くの人に知ってもらいつつ、観光活性にもつなげていく活動を行っています。

子どもたちが農業振興や地域活性のために紫色のニンジンのドレッシングを作り、これを売り、地域活性や農業振興、ひいては子どもたちが自分の人生を切り拓いていくために求められる資質や能力を育む一翼を担いたいという取り組みで、子どもたちが1年をかけていろいろなことを学んでいくというモデルになっています。

募集すると広い地域から小中学生が集まってくるので、「初めまして！」からスタートするのですが、カレー作りやチームビルディングのワークを通して少しずつチームをつくっていくところから始まります。

そして、自分たちで考えながら、農家さんに聞きながら、土作りから畑造りを始めます。肥料を入れ、畝を立て、害虫が来たらどうしようなどと心配もしながら、まず土作りからスタートしていきます。

その後は、実際に種まきをし、間引きをするか、追肥するかについても子どもたちが判断をしながら行っていきます。

農家さんに話を聞いても、播種に正解はないようです。「農業に正解がない」ということが子どもたちにも分かったので、農家さんに聞いたり、大人のアドバイスも受けたりしますが、最後は自分たちで判断し、作業に取り組んでいます。

ICT（情報通信技術）を取り入れたアグリテック農家さんたちが多いという話を聞いているので、私たちも企業さんからサポートをいただいて、生産の向上や食の安全性の確保などの観点から「フィールドサーバー」を導入し、圃場で長期間、温度・湿度・光合成有効量子束密度などの気象データを高い精度で計測しながら、収穫へ向かいます。

収穫をした後は調理実習をして、子どもたちと一緒にドレッシングを作ります。

最初、子どもたちは楽しみに軸足を置くので、「すごいもの、」ができることもありますが、だんだんと真剣に作ろうという気になり、程好い味に収まっていきます。

加工会社さんにも入ってもらうので、食品衛生法などには抵触しない商品になります。味は大人が良いと思ったものではなく、最後は子どもたちが味を決めています。

味が決まった後はキャッチフレーズを決めます。去年は「ありのまま、味のまま」になりました。大人が決めた味ではなく、自分たちが良いと思った味を選んだという意図が伝わる「ありのまま」と、添加物を除いて紫ニンジン本来の味を生かしたことから「味のまま」という言葉を使い、商品のコンセプトを表現しました。この発想からも、子どもたちに力が付いてきていると感じました。

続いてマーケティングを行います。スーパーやコンビニに行き、どのようなドレッシングが売られているかを調査し、ラベルデザインや価格を決めます。

実際に商品が出来上がってくると、販売会の企画を行います。モアーズの入口は人通りが多い、コースカは平日に比べ土日に出があることなどを考慮して販売場所を選定します。最近では販売場所の交渉なども子どもたちが行って、子どもと大人が販売会の商談をするというところまでできています。

会場が決まれば販売会を行います。販売も子どもたちが行います。基本的に、子どもたちが、作った商品を売りさばいています。

そして1年後には、お世話になった保護者、スポンサー、農家さん、地域の方々に活動を報告するという流れになります。

1年を通して環境、自然科学、科学技術、人文学、経営と、いろいろなジャンルに子どもたちが触れていきます。これを「アグリアーツ」という呼んでいますが、残念ながら全て完璧とはいきません。しかし、幼い頃からこの「アグリアーツ」に触れていくことで、いろいろな力が付いてきていると思います。

文部科学省の新学習指導要領「これからの教育課程の理念」の抜粋ですが「これからの社会を創り出していく子どもたちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育てていくこと。教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること」という文言があります。これはまさしく私たちが「横須賀ジュニアビレッジ」で行っていることにすこぶる近いと思っています。今の時代はもう学校内にとどまらず、社会・地域・学校外で学びを促進することが大事であると思います。しかし、学校もすべきことが山積していて、子どもたちを地域の外に連れて行くことや、地域と触れ合う機会がつかれないというのが実情で、我々のような民間人が子どもたちと地域を結び付けるという活動が大切になっていて、日本の人材育成が抱えている悩み解消策の一端を担うと思っています。

「横須賀ジュニアビレッジ」の活動に関しては、個人の力とチームの力を伸ばしていきたいと考えていて、個人の力としてはチャレンジする力・情報収集力・課題設定力・論理的思考力・課題設定力・チームの力としては話し合いをまとめる力・相手のことを思う力・相談し助け合う力・時間管理能力・プレゼンテーション力などを身に付けてほしいと思っています。

企業の皆様に応援していただきながら、スーパーやカレーフェスなどのイベントに出店させてもらうなど、多くの方々に協力していただき、ドレッシングなどの商品を販売しているところです。

最近では、原材料の値上がりに伴いドレッシングの販売価格も上がっていますが、変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

今年から「ソレイユの丘」で、新たな取り組みを始めました。日比谷花壇さんとタッグを組み、ハーブの一種であるジャーマンカモミールの花を使って石鹸を作り、お土産として販売する取り組みも始めています。「ソレイユの丘」のお土産が売れば売れるほど、横須賀の観光活性にもつながると自負しています。今年は観光にも幅を広げながら活動している次第です。

時間になりました。拙い話ではありましたが終わらせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 藤村 会長

週報担当 萩原 英恵